

## 越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝 12 高岡市産業振興部 地域振興交流課内

TEL.0766-64-1426 FAX.0766-64-0566 <http://sugegasa.web.fc2.com>

理事会(R3/7/6)…令和3年度総会(書面議決)で可決された、新役員の紹介の様子。

## 新年のご挨拶

越中福岡の菅笠製作技術保存会  
会長 村本 孝義

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、新型コロナウイルスが全世界各国、各地で猛威をふるい、次々と変異株が発生し、私達の日常生活を恐怖と不安にまき込み、今までの活動及び状況を一変させました。

その様な中で皆様方の越中菅笠保存を維持するべく情熱を持ち続け、今できる事を少しでも一步一步実施、参画、参加いただきました事に、大変感謝申し上げます。

伝統ある菅笠の技術保存の講座の実施や、色々な機会をとらえての展示、多くの方に菅笠の製作技術の魅力を広めるべく努力活動出来ました事は、本当にありがたい事でございます。

又、特に富山大学 芸術文化学部の先生方や学生さん達が菅笠に興味を持って頂き、色々な活動、支援をしていただく事は、菅笠づくりに携わる方の高齢化や担い手不足、菅笠づくりの減少等の課題に取り組んでいる私達への明るい未来が期待できる、希望の持てる思いが致しました。

今年も菅笠づくり講座、イベント、菅田づくりの拡大に向けての体験等を行いたいと考えておりますので改めて皆様方の積極的な参加と御支援、御協力をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症の終息を心から願うとともに、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつと致します。

## 「笠骨づくり」職人育成

笠骨づくり職人育成は、講師の中嶋尋之さん宅の納屋、通称「中嶋工房」をお借りして実施しています。マットを敷いた土間で、暑い日も寒い日も、竹を割り、削り、曲げています。

育成2年目の堤眞知子さん(第5期生)は、去年の成果報告と比べると評価が25%アップ!育成初年度の菊地裕美さん(第6期生)は、努力があらわれていると高評価です。二人とも上達が早い!と、講師の中嶋さんは、成果報告書に記していました。



ツバメちゃん、今年の春も待ってるからね!

「中嶋工房」に、春の訪れを告げる鳥といわれているツバメが、令和3年の春も巣作りにやってきました。ツバメは害虫をエサとするので、農作物を守ってくれる益鳥として、またヒナを守るために人の出入りが多い場所に巣を作るので「商売繁盛」の象徴とされており、ツバメは昔から縁起の良い鳥として大切にされてきました。

ツバメの成長も楽しみな「中嶋工房」です!

写真上/第5期生の堤眞知子さん  
写真下/第6期生の菊地裕美さん

かさぼんこからのお知らせ!

Facebook 始めました!  
最新の情報満載だにゃん。のそいてみてにゃーん!

## 令和3年度「菅笠づくり後継者育成講座」2カ月遅れでスタート！

新型コロナウイルスまん延の為、例年より2カ月遅れで開講となった「菅笠づくり後継者育成講座」(高岡市主催)が、10月13日(水)に「笠骨づくり」と「笠縫い」の合同講座から始まりました。お互いの講座を見学し、菅笠づくりの工程が分かり、とても参考になりました。「笠骨づくり講座」は月2~3回(計17回 1回3時間程)7名の受講生(初受講4名)が、「笠縫い講座」は、月2~4回(計20回 1回6時間)6名の受講生(初受講1名)が高岡市福岡支所3階大会議室で学んでいます。

講座見学は随時可能ですので、お気軽にお問い合わせください！(64-1426)



笠骨づくり・笠縫い合同講座



笠縫い講座



笠骨づくり講座



笠骨づくり講座



笠縫い講座



笠縫い講座

【笠骨づくり講座】中嶋尋之さんと中山孝志理事が、基礎から竹を割って削る指導をしています。【笠縫い講座】橋本レイ子理事と、茂古沼真知子理事が、菅を選び分け、一つの笠を縫い上げるまでを指導しています。

## 越中福岡の菅笠に関する講義

7月11日(日)、金沢市金石の観光ボランティアガイド「みやのこしこまち」の皆様10名に、「越中福岡の菅笠に関する講義」をふくおか総合文化センター イベントホールで行いました。

菅笠が出来るまでの映像を鑑賞後、「荒物から工芸品」をテーマに活動している高岡民芸(株)中山煌雲さん(当会理事)に、「これからの菅笠について」講義して頂きました。

事前に「みやのこしこまち」の皆様から菅笠の歴史に関するレベルの高い質問が届いており、日和祐樹副会長に全面的に協力して頂き、丁寧な回答を頂戴いたしました。講義当日に回答を読み上げる予定でしたが、活発な質疑応答があったため、回答を紙面にしてお渡しする事になりました。ここにその一部を紹介します。



【Q】鉄道が通る以前の販売方法、加賀・宮腰湊から菅笠が北前船で発送された伝票が残されています。福岡町からの販売ルートはどの様に行われましたか？

【A】運搬手段は古くは馬と船でした。北前船が出来てからは、福岡から小舟で伏木まで運び、伏木から新潟、山形、秋田へと、一方西は九州、大阪、京都へと運ばれました。飛騨、高山へは五箇山経由で馬便に頼っていたようです。甲府への輸送ルートは、伏木港から越後今町港(直江津)に上り陸路長野経由によるものと、越後糸魚川から陸路松本経由のものがありました。品物の安全性や笠問屋によって輸送経路が異なったようです。



菅笠を実際に触り、被ってみて菅笠の良さを体験して頂きました。

「みやのこしこまち」の皆様は、菅や菅笠に関してイメージが掴めたと、大変喜んで下さいました。

菅笠について知りたい！というグループ等がありましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。講義内容や日時など柔軟に対応いたします！

## 博労公民館 体験講座

6月17日(木)、博労公民館で「博労地域生涯学習講座 ミニ菅笠と菅のコースターづくり体験」が行われました。

ミニ菅笠づくりを、橋本レイ子さん、松平カツミさん、茂古沼真知子さん、佐野智賀子さん、菅のコースターづくりを、菅っこメイトの大道悦子代表、村岡節子さんが、14名に指導しました。



ミニ菅笠の染色菅の色と、コースターのワンポイント和紙の色合いが合っていて、お揃いコーデみたい♪

## リメンバー笠縫い講座

以前に菅笠づくり後継者育成「笠縫い講座」を受講され、修了した方を対象に、「リメンバー笠縫い講座」を11月25日(木)高岡市福岡支所3階大会議室で行いました。

笠縫い講座の橋本レイ子先生、元講師の松平カヅミさんが講師を務め、11名の受講生が小さな一文字笠(6寸)を縫い上げました。

毎回大好評のこの講座は、笠縫い仲間との同窓会の場になっています。仲間との再会に喜びつつも、小さな一文字笠の扱いに一苦労…。



5時間の講座があっという間に終わりました。

参加した受講生は「次回は実際に被れるサイズの菅笠に挑戦したい!」と意欲的。来年度も講座を企画予定です。修了生の皆様に案内を送りますので、笠縫い同窓会「リメンバー笠縫い講座」にご参加ください♪

今回の講座のすげは、村本孝義会長より寄付して頂きました。ありがとうございました!



## 笠骨づくりマニュアル「富士笠編」制作中!

昨年度に引き続き「越中福岡の菅笠 笠骨づくりマニュアル(高岡市制作)」の撮影と編集に協力しています。今回は炭火で曲げ加工を施した富士笠の笠骨づくりと、笠骨を作る時の外輪骨および中骨の長さの基準となる尺竹の作り方を、2日間に渡って撮影しました。

撮影は真夏…。照明に照らされ、火起こしをし、中骨を曲げる工程撮影は、撮影協力して下さった理事の中山孝志さん、カメラマンさん、事務局の全員が汗だく。蝉が一斉に鳴くので、木のそばまで行って静かにしてもらえたらと願ったりしながらの撮影でした。

現在は編集作業に入っています。「角笠編」を見て下さった笠骨づくり講座の受講生の皆様の意見を取り入れ、より分かりやすいマニュアルDVDを制作していますのでご期待下さい!

## 万葉集全20巻朗唱の会

高岡万葉まつりのメインイベント「万葉集全20巻朗唱の会」の動画撮影が、9月2日(木)に福岡支所で行われました。これは菅笠をPRするチャンス!ということで、万葉衣装を身にまといヘルメット笠・富士笠・乙女笠・菅笠マカロンを被って、地域振興交流課員と菅笠事務局員の4人が25首(巻19 4166~4191番)を朗唱しました。

従来ならば、高岡古城公園の濠に設けられた特設水上舞台で、2千人を超える人々が三昼夜かけて万葉集を朗唱するイベントが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い会場朗唱が中止となった為、全4516首を動画朗唱で歌い継ぐ形での開催となりました。



一つの工程の撮影が終わる度に現れる「コロコロ隊」は、「コロコロ」と呼ばれている粘着クリーナーを片手に、黒いマットにくっついた竹の削り屑を阿吽の呼吸で取り除き、次の撮影の準備をします。

### 菅笠地蔵 とかさぼんこのおしゃべりコーナー

【かさぼんこ】素敵なマスクにやんね♪

【菅笠地蔵】地域の皆様が用意してくださいます。ありがとうございます。

【かさぼんこ】菅笠地蔵さんは、皆に親しまれているやんね。

【菅笠地蔵】菅笠の製作技術が重要無形民俗文化財に指定された記念として、私が建てられました。2009年から道行く人の安全を祈っております。

【かさぼんこ】菅笠地蔵さん、いつも見守ってくれて、ありがとうやん!

【菅笠地蔵】お褒めを頂きますが、お気持ちだけで十分です。これからも皆様を、まちづくり福岡工房 ithubくちの近くで見守っています。



動画は、「高岡万葉まつりのYou Tubeチャンネル」で配信中です。是非ご覧下さい!

◀高岡万葉まつり You Tube チャンネル QRコード



## 菅田づくり体験講座

昨年に引き続き、菅田づくりに興味を持たれた方を対象に、「菅田づくり体験講座(全4回)」を、中山孝志さんが管理する菅田で行いました。

今年度は、菅の芽かき(間引き)体験からのスタートです。昨年の10月の体験講座で植え付けた菅が、膝丈程に成長しました。その菅を傷つけないように注意しながら、1株に対し4本の太い菅を残して余分な菅を抜き取りました。



【第2回】 刈り取り体験 7/24(土)・30(金)・31(土) 計14名参加  
 ・写真A / 早朝とはいえ真夏の陽射しは暑く、菅で怪我をしないように長袖・長靴・長ズボンの「3長フル装備+マスク」はより暑さが増しますが、菅笠を被ることで頭は涼しい! 流石の菅笠です。  
 ・写真B / 刈り取った菅は、カビの発生を防ぐためにパラードでしっかり水分を飛ばします。

ました。昨年も体験した参加者は「昨年より上手に根を残したまま抜き取れた」と、コツを掴んだ様子でした。

第4回は、植え付け体験を行いました。菅の根から30cmの長さで葉を切断し、コロガシ(田植え枠)で植える目印を付けた部分に45度の角度で、1本ずつ深植えをしました。「自分が思っているよりも寝かせて植えないと45度になりません」と、講師の中山有希子さんが実演を交えて説明しました。

今回植え付けた菅の芽かき体験講座を、春に予定しています。興味のある方は是非ご参加ください。お待ちしております!



【第3回】 苗取り体験 9/28(火)・29(水) 計4名参加  
 …夏に刈り取った菅の刈り株から再生した苗を抜き取ります。根元が太く新根の発生している良い苗を選びます。

【第4回】 植え付け体験 10/7(木)・8(金) 計5名参加  
 ・写真C / コロガシで苗を植える目印を付けたところから体験しました。  
 ・写真D・F / むかみで長靴が脱げそう…。でも大丈夫! 紐で足首を固定すると、とっても歩きやすいです。  
 ・写真E / 目印に沿って植えられた菅苗。美しい風景です。



## 令和3年度 菅田面積調査

6月8日(火)に、越中福岡スゲ生産組合の村本孝義組合長(現菅笠保存会長)、スゲ生産組合事務局員1名、城山孝会長(現顧問)と事務局員2名で、令和3年度菅田面積調査(高岡市実施)を行い、調査を開始した平成21年度と比べると、栽培面積・農家数共に約1/3に減少していることが分かりました。毎年、栽培を復活して下さる方や、



新規で栽培を始める方がいらっしゃったのですが、今年度はどちらも0件でした。

当会では菅栽培に興味がある方が気軽に参加できる体験を実施しております。一人でも多くの方に菅に触れて頂きたいので、お気軽にお問合せ下さい。

## バケツ菅の展示協力

8月2日(月)~7日(土)の期間、あいの風とやま鉄道福岡駅と、JR西日本新高岡駅



に、バケツで栽培した菅草の展示協力をしました(越中福岡スゲ生産組合主催)。高岡市福岡町の特産である菅草と完成品の菅笠を対比展示し、多くの方に興味を持って頂く事が出来ました。